

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課  
担当課長名：中島威夫

<b>事業名</b> 一般国道327号 恵後の崎バイパス <small>えごのさき</small>	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 宮崎県
<b>起終点</b> 自：宮崎県東臼杵郡諸塚村恵後の崎 <small>ひがしうすき もろつか えごのさき</small> 至：同県同郡諸塚村恵後の崎 <small>もろつか えごのさき</small>		<b>延長</b> 1.8 km
<b>事業概要</b> 一般国道327号は、宮崎県日向市を起点とし、熊本県蘇陽町に至る延長約90kmの主要な幹線道路である。 恵後の崎バイパスは、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長1.8kmの2車線道路である。		
H元年度事業化	平成 - 年度都市計画決定	H 3年度用地着手
H 4年度工事着手		
全体事業費	約63億円	事業進捗率
計画交通量	2,900台/日	供用済延長
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 1.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 77/77億円 (事業費：75/75億円) 維持管理費：2/2億円
総便益	(残事業)/(事業全体) 127/122億円 (走行時間短縮便益：98/94億円) (走行費用減少便益：9/8億円) (交通事故減少便益：20/20億円)	基準年：平成15年
<b>事業の効果等</b> ・国土・地域ネットワークの構築（現道における大型車のすれ違い困難箇所が解消される） ・災害への備え（現道の事前通行規制区間の解消）		
他 9項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 本工区は、幅員狭小・線形不良のため離合不能区間が多く、人員・物資の輸送、林業等の産業活動に支障をきたしているため、沿線住民および自治体で構成される入郷地域開発期成同盟会（平成15年9月2日）による整備促進の要望を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 特になし。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 本工区は、急峻な斜面でのバイパス工事であり、片側施工という制約があったことや、橋梁、トンネル工事が多いことから施工に時間を要したが、現在は片側施工区間を解消しトンネル工事に着手している。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 今年度までに用地買収を終了し、全線にわたり工事を進めており、平成16年度に全線供用予定である。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 当初の法面切土計画を、路側構造物と橋梁計画に見直すなどコスト縮減を図っている。		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。